

「志高く奉仕の心」

会長 柳 清二



THE WEEKLY REPORT

2012~2013

# TAKIKAWA ROTARY CLUB

本日は 第2794回 例会

プログラム

明日の滝川を語る

No. 2630 11月1日(木)

次週以降の予定

11月8日(木) 財団の補助金モデル「未来の夢計画」

11月15日(木) 寄贈の詩ストーブ シップベルの設置  
完成披露とセレモニー(移動例会)

11月22日(木) 昨今の戸籍行政について

## 第2793回 例会報告

2012年 10月25日(木)

### 会長挨拶・報告



ロータリークラブに集まる人々は、事業家、職業人であり、話題は商売の話や趣味の話が絶えません。他種の方々ですので、会員同士打ち解けて親睦の間柄となり、困った事は相談しあう、慰め合う、助け合う、更に会員同士の取引やサービスの提供となつて、実利的に便利性や有効性をもった存在になります。しかし、一つの転機がきて「仲間の利益ばかり考えている会は長続きしない。広く社会的に有用な団体となる立派な旗印が必要である。」と考え、商売繁盛を続ける秘密は自分の仕事に精を出し、相手の身になって励むこと、即ち『最もよく奉仕する者、最も多く報いられる』"He Profits Most Who Serves Best"の標語が掲げられました。同時に「超私の奉仕」と共に公式標語となつて、ロータリーは奉仕団体としての性格が明らかになりました、ロータリーははじめに親睦・友愛があり、そこから職業奉仕が生まれ、社会奉仕に成長し、更に広がって国際奉仕となり、未来への理想を繋ぐ新世代奉仕となつて、これを貫く思想を「奉仕の理想」と呼びます。

今日は職業奉仕月間です。10月号ガバナー月信に、地区職業奉仕委員会委員長 田 泰明 氏が職業奉仕についてこの様に明記しています。「職業」とはお金を儲けるための手段で、私達が生きていくための所得を得る手段であり、「自分のためのもの」である。「奉仕」とは世のため人のためのものであって、自分以外の「人のためのもの」である。この全く正反対の言葉を一つに合体させて「職業奉仕」といっている。即ちロータリーは、一つの心をもって職業を営み、且つ奉仕する事、換言すれば世のため人のために奉仕する心をもって職業を営むべしと説いています。ロータリークラブは寄付団体ではありません。慈善団体でもありません。ボランティア団体でもありません。ロータリークラブは社交クラブとしてロータリアンに奉仕の心を育て、世の中に倫理

を提唱していくべき使命をもった団体なのであります。ここに「奉仕を通じて平和」のスローガンが生まれ、職業と奉仕の意味を十分に理解し実践して、初めて職業奉仕の効果を発揮できると思つてやみません、と訴えております。

### 幹事報告



- ①赤平RCより11月例会プログラムが届いております。
- ②滝川市歳末たすけあい赤い羽根歌謡大会入場券販売の依頼がまいりました。12月2日ですが、ご都合のつく方はご協力をお願い致します。1枚1,000円となっております。
- ③来週11月1日(木)は、第11回定例理事会が開催されます。1月に担当例会をお持ちの各委員長さんは、10月29日までに事業実施計画書の提出をお願い致します。

## 先週のプログラム

職業奉仕委員会担当例会

ゲスト卓話



松岡 高志 職業奉仕委員長

今日は、旭川工業高等専門学校から機械システム工学科の岡田昌樹教授をお招きして講話を頂きます。岡田教授は、函館高専を卒業後、富士通に就職。その後、函館に戻り北海道の職業訓練の指導員に採用されました。また、その後何年か道庁に勤務している間に技能士、技術士、MBAを習得しております。著書には「Excelで解く機械設計計算」「生産技術者のためのすぐ使えるCAM」「Edgecam入門 3次元CAD/CAM」等があり、非円形歯車に関する特許もっております。旭川高専で教授が担当するロボットコンテスト(ロボコン)は、これから全国大会に出場することになっております。今日は旭川高専におけるコトづくり、人材育成講座ということで講話を頂きたいと思っております。

## 「旭川高専のコづくり～人材育成講座」

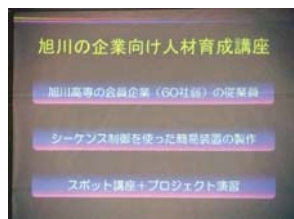


旭川工業高等専門学校  
機械システム工学科

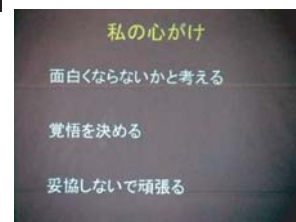
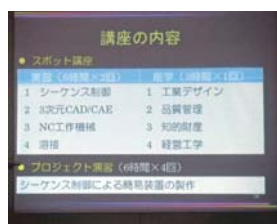
岡田 昌樹 教授

「コづくり」というのはストーリー性のある物づくりや人づくりということで、何かをやる時に苦しいことや悩んだこと、上手くいかなかったこと、嬉しかったこと、楽しかったことなど「感情を揺さぶられるような取り組み」についてのことです。高専は中学校を卒業してから5年間勉強するところですが、全国に国立が51校、公立が3校、私立が3校あります。昭和37年に12校が開校し今年で50周年、そのうち旭川は12番目にできた学校となります。旭川高専の特徴は、道北で唯一の工業系高等教育機関で15歳から5年間の一貫工業教育となっており、プラス2年間 専攻科で授業を受けると大卒及び技術士補の資格一次試験が免除となります。現在は学生が900名程、全国でトップクラスの学力を保持し、数学、物理、英語などは全国の高専で4番以内には入っておりますが、学校が楽しいのか留年生も結構多くなっております。5年間の教育修了後、6割は就職し、4割は国立系の大学の3年生に編入します。旭川高専は「ロボコン(ロボットコンテスト)」が有名です。今までの25大会中に全国大会優勝2回、大賞1回で全国制覇を3回しています。先週の日曜日に開催された北海道大会も通過、既に全国大会に標準を合わせています。多くの子供が入部したくて入学しますが、当校では「成績の悪い学生はロボコン部を退部」としています。何故なら、夢中になり夜中まで活動してしまう子供が多いので、学業が疎かにならないよう、そのようなシステムにしています。

(映像によるロボコン部の紹介など)



現在、企業向けの人材育成講座をしています。対象は旭川高専会員企業(60社弱)の従業員で、シークェンス制御を使った簡易装置の製作というテーマで講座をしています。スポット講座とプロジェクト演習の組み合わせが当講座の特徴です。スポット講座は、実習(シークェンス制御・3次元CAD/CAM・NC工作機械・溶接)を6時間×2回、座学(工業デザイン・品質管理・知的財産・経営工学)を3時間×1回行っています。プロジェクト演習は、シークェンス制御による簡易装置の製作を6時間×4回(土曜日)行っています。(映像による演習の紹介など)  
以上、ありがとうございました。



## ニコニコBOX

柳 清二会員

旭川高専機械システム工学科教授、岡田昌樹先生の卓話を頂いて。

篠島 弘会員

木曜フォーラムでお話をさせていただいて。

水原 勝之会員

結婚記念日の祝いをいただいて。(11月ですけど...)

松岡 高志会員

例会を担当させていただいて。

会長/柳 清二  
幹事/川原 弘嗣  
編集/クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp  
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30

例会場●ホテルスエヒロ

事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16

TEL (0125) 22-3344

FAX (0125) 24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。